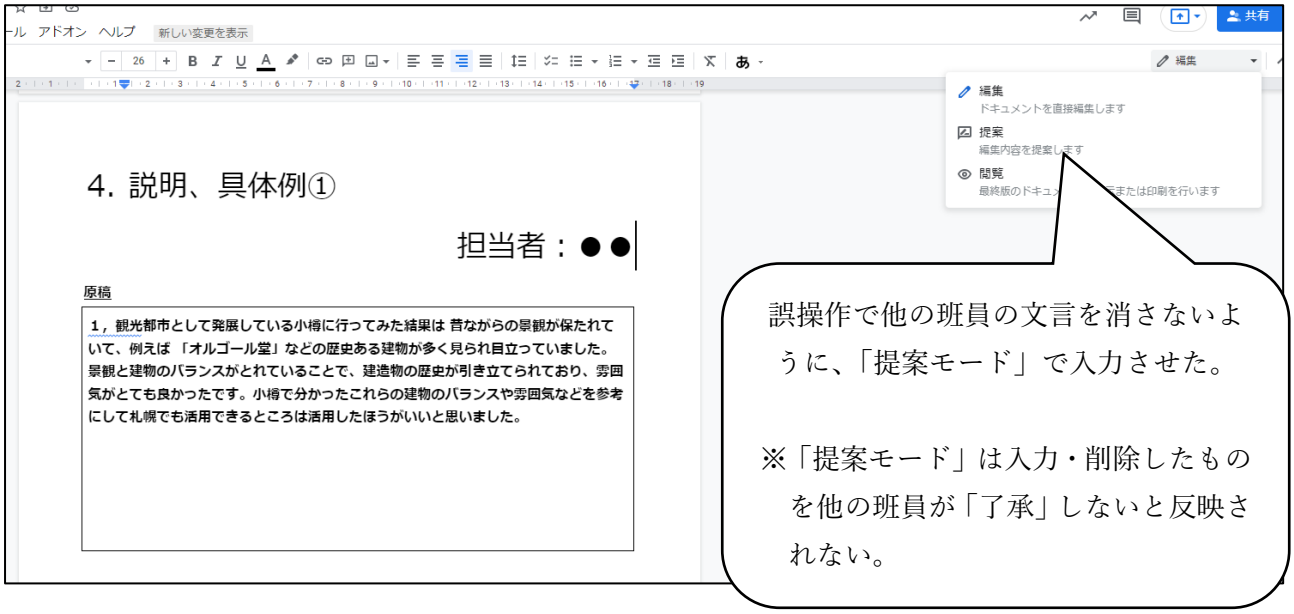
ICT 実践報告

授業者：久根口修平
教　科：宿泊学習
単　元：事後学習まとめ
概　要　生活班（７人・１学級５班・４学級　計２０班）で学習に取り組む。
課題「札幌市を観光都市として発展させるためには」に対して、班ごとに仮説を立て、宿泊学習自主研修（ニセコ・小樽）で学んだことを通して、仮説の検証・結論を出す。
「道内観光客」「道外観光客」「海外観光客」の三つの視点のどれかを選択する。
班の仮説・検証・考察・結論を５分程度のプレゼンテーションで学級に発表する。
プレゼンの役割分担・台本は document を使い、発表資料に slide を活用した。

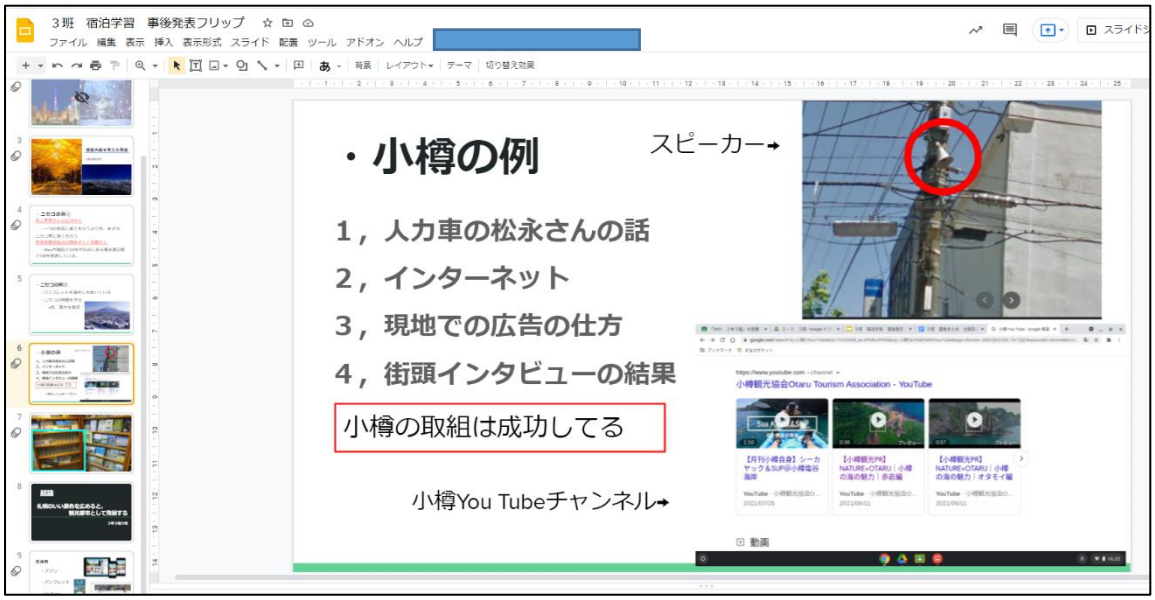
日　程
１１月１７日（水）　事後学習①（提案まとめ・分担①）
　　１９日（金）　事後学習②（提案まとめ・分担②）
　　→提案まとめ・分担表（document）提出締切　学級担任の先生に提出
　　２４日（水）　事後学習③（原稿・フリップ作成①）
　　→発表原稿（document）提出締切　担当の先生に提出
　　２６日（金）　事後学習④（原稿・フリップ作成②）
　　→フリップ（google slide）完成締切　提出の必要はなし
　　２９日（月）　中間発表会（視点ごと）
１２月　１日（水）　事後学習発表会（学級ごと）

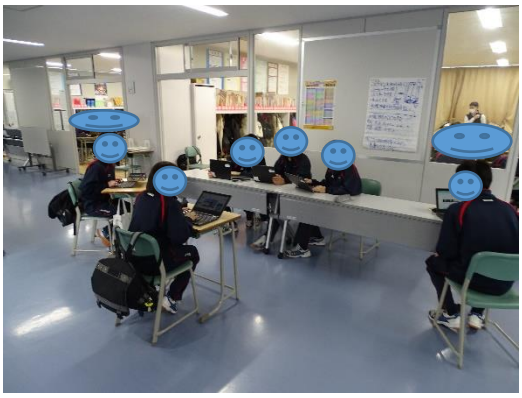
【Classroom】生徒が使う document と slide は Classroom で共有した。

【document】同じファイルを班員で同時に入力・編集した。



【slide】





【成果と課題】

◎クラウドデータのため、担当部分が完成していない欠席した場合も、他の班員が続きを進めることができた。発表当日も、別の担当者の台本を読み上げることもできる。

◎台本は担当部分を個人で考えることになるが、他の班員の進捗状況を確認できるので、作文が苦手な生徒や困りを覚えている生徒の状況がすぐわかり、班内でサポートできた。

○コロナ対策として、密集せず距離をとって活動することができた。

●今回は日程・感染症予防の関係でできなかったが、クラウドデータだからこそ、気軽に様々な相手と交流や作成資料の共有ができる。同じ観点同士での交流や同じ役割同士での発表練習などジグソー形式で交流・助言を行い、自班の発表を充実させることもできるかもしれない。